

申 入 書

平成27（2015）年 月 日

_____福祉事務所 御中

住所

氏名_____印

記

私の世帯には、下記の事情がありますので、住宅扶助の給付について特別基準の設定または経過措置の適用がされるべきです。よって、住宅扶助を減額しないでください。

- 世帯員数、世帯員の状況（障害・病気等）、当該地域の住宅事情（新基準の家賃で借りられる適切な物件が近隣にない等）により特別基準の設定が必要です。
- 通院または通所をしており、転居により通院等に支障をきたします（通院等をしている機関と良好な関係を保持しているが、転居によって通院等が現状より負担となる場合、精神疾患等により転居による環境変化が病状等を悪化させるおそれがある場合等）。
- 現在就労または就学しており、転居によって通勤または通学に支障をきたします（転居によって通勤等が現状より負担となる場合等）。
- 高齢者、身体障害者等であって、扶養義務者からの援助または地域の支援を受けて生活しており、転居によって自立を阻害します。
- 私には下記事情があり、転居によって自立を阻害します。

(なお、この申入書を提出することにより住宅扶助の減額を認めたものではありません。)

以 上